

| 法人の名称 ()内は所在地 | 評価結果 | 主な意見【概要】 |
|----------------------------------|------|--|
| 株式会社 ダイター (雲南市大東町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に財務健全性は高く、収益性も良好であるが、減少傾向にある。 ・市方針では、「ゆとりの里」は平成20年度末閉館。「桂荘」及び「かじか荘」は、統合を検討中であり、職員の処遇等については、市が責任をもって配慮することが必要である。 |
| 株式会社 キラキラ雲南 (雲南市加茂町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化振興という不採算であるが、公益性の高い事業が展開されている。 ・収益確保に向けた各種補助金の導入や企業メセナの活用による自主財源の確保が必要である。 ・管理施設のない地域等での全市的な事業展開が図られつつあり、引き続き、地域住民や行政・他団体との連携を強化する必要がある。 |
| 木次都市開発 株式会社 (雲南市木次町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度決算では、1,288万円の改善により、損益は黒字へ転じた。特に、健康温泉センター（おろち湯ったり館）において、大幅な改善が図られており、経営改革の成果が認められ、大きく評価できる。 ・主力事業である健康温泉センターに経営努力を傾注し、利用者増加に向け、市内温泉入浴施設との連携や入浴券販売など営業展開を積極的に実施することが必要である。 |
| 木次道の駅 株式会社 (雲南市木次町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・収益確保については、設立当時から民間の経営スタイルにより黒字経営を続けており、新分野への進出や徹底した経費削減及び業務効率化など、企業としての経営努力が認められる。 ・市内中心部の道の駅として、単なる休憩機能だけでなく、地域住民のための情報発信やイベント企画など地域活性化の公益的機能をより一層強化し、雲南市の交流滞在拠点として、その存在価値をさらに発揮していく必要がある。 |
| 株式会社 吉田ふるさと村 (雲南市吉田町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤字部門を他部門で補填してでも、地域の利便性向上のため事業を実施していくスタンスであり、公共出資比率が低いにもかかわらずその公益性は極めて高く評価できる。 ・農産加工部門については、積極的な商品開発に取組み全国的なブランドとして評価を受けている。また、シンポジウムを開催するなど、地域振興にも大きく寄与している。今後も、地域への公益的かつ経済的な波及効果を創出する取組みが期待される。 |
| 財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団 (雲南市吉田町) | 概ね良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興という不採算であるが、公益性の高い事業が展開されている。 ・「たたら製鉄」の文化が雲南市の財産として市民に認知されるよう、事業の全市的な展開に向け、地域住民や企業、行政、他団体との連携をさらに強化し、市民会員数の増加を図る必要がある。 ・各施設の効率的な運営を図り、施設の利用率や稼働率向上、事業の質的向上にむけ、さらに努力していく必要がある。 |